

epoch

エポック No108

～千代田区生涯学習推進委員会議だより～
平成31(2019)年1月 発行



第12期第4回 概要報告

12月11日、第4回生涯学習推進委員会議が開催されました。今回は、第2回と第3回会議を通して検討を行ってきた「ちよだみらいプロジェクト」で設定されている「目指すべき10年後の姿」の実現に向け、委員の皆さんから出していただいた意見をまとめた内容を基に、テーマに盛り込むべき要素やまとめに対する意見交換を行いました。



以下、概要をお伝えいたします。



今期のテーマについて

第12期のテーマを検討するにあたり、これまでのワークシート作成や意見交換を通じて、テーマに盛り込むべき要素と考えている内容について、委員の皆さんには会議の事前課題として考えていただきました。会議当日は委員の皆さんにそれぞれの考えを発表していただくとともに、これまでのまとめを踏まえ、さらなる意見交換を行いました。

主な意見交換の内容

- ちよだ生涯学習カレッジの位置づけをより明確にしても良いのではないか（卒業後の活動の場、求められている人材像など）。
- 世代別のニーズ分析を行い、ニーズに応じた学びの機会や提供する学びの内容を検討していく必要があるのではないか。
- ちよだ生涯学習カレッジで学ぶ2年間で、ここをもう少し深めてみたいという方向性を持って卒業ができると、その後の具体的な活動につながっていくのではないか。また、受け身ではなく多方面にアンテナを張り、卒業後の進路を学生が自分で切り開く事が必要ではないか。
- 国際化やジェンダーの受け入れが今後はより一層進むことが想定されるため、多様性がキーワードになるのではないか。
- コーディネーターという言葉は幅広い捉え方が出来る一方で、漠然としている面もあると思う。ちよだ生涯学習カレッジについても、入学から卒業後の動き方まで一連の流れで示すなど、具体化が求められるのではないか。
- ちよだ生涯学習カレッジでの学びで、地域やキャリアアップ、一般的な知識など、生涯学習の組み立てが出来るように工夫すれば、気軽に学んでもらう事ができるのではないか。
- 区立小学校3年生は、地域学習を行う機会がある。ちよだカレッジ卒業生に学校と地域のコラボレーション役を担ってもらいたい。子どもたちは、学びのきっかけを得て、刺激を受ける事が成長に繋がると思う。
- 自分のための生涯学習なのか、他人のための生涯学習なのか、どこに視点を向けるかも大切なのではないか。ちよだみらいプロジェクトで10年後の姿とあるが、細分化して3年後、5年後、10年後のスパンで捉えていく事も必要かもしれない。





リレー随筆

社会と繋がる力を培う学び

千代田区での絵画サークルに思う

尾上 好美
(千代田区スポーツ推進委員協議会)

野田 健一郎
(ちよだ文化連盟 事務局長)

生涯学習推進委員として、生涯学習とは何か？を自分に問う機会をいただいています。

現時点では、生涯学習は“社会と繋がる力を培う学び”だと考えています。言い換えると、日々変わりゆく社会に必要なスキルを更新し続ける学びです。

どのジャンルでも、これまで自分が触れたことのない分野への扉を開く学習はわくわくして楽しいものですが、さらに深めることを考えると、学んだことを誰かと共有できたら、さらに自分を肯定的に受け止められ達成感を強く実感できるでしょう。

日本でいう生涯学習は広義的ですが、社会へ還元する学びであるリカレント教育としての意味合いが重要だと思います。

私には高校2年生の娘がいますが、キャリア教育、お金に関する知識、自己表現や情報処理に関してなど、私の受けた学校教育の中では与えられなかった学習の機会が今は与えられています。これらを多くの社会人の方々は、就職先の企業での研修、そして必要に応じて、自己投資という形で必要な差分を埋めてきたのではないかと思います。

社会は日々変遷しています。これにいつも対峙できる人間でありたい。その強い志が、生涯学習を続ける根源にあるのではないのでしょうか。

このような人々の思いをしっかりと受け止めて、生涯学習を続ける人材をどのように評価し生かせるかが今後の日本の課題だと鑑み、新たなシステム構築の必要性を感じています。

私は千代田区内で10数年間「神田の街を描き続ける会」にて作品作りに携わってきました。文化と歴史のある街を描くのは楽しいし、自分なりに新しい発見を見出すために本を読んだり、先輩たちに昔の神田の街の様子を聞いて勉強させてもらっています。

例えば、5月に行われる「すずらん祭り」の似顔絵描きでは、以前は神保町に住んでいた人が年1回の祭りに神田に来て懐かしいと昔の話を聞いたり、6月に行われる「ちよだ文化連盟展」のチャリティー展では、西日本での災害や熊本地震への募金活動をして、少しでも我々の善意が被災者に届いてくればと新たな作品に力を注いでいます。このような事を通じて、温かい人の心を感じています。また、作品においても、葉っぱ陽子さんの作品や折紙の並木さんの作品、石ねこの長さん等、皆さん素晴らしい技術を持っていると感心しきりです。

そういった作品を九段生涯学習館で披露させていただき、来場者の皆さんに見ていただく事により、それぞれの作品のレベルは毎年、向上しています。九段生涯学習館がより活性化し、利用者同士が会話を楽しみ、交流の機会が多く生まれる事を大いに期待しています。

【編集／発行】

千代田区 地域振興部 生涯学習・スポーツ課

〒102-8688 千代田区九段南1-2-1

TEL 03(5211)3632

FAX 03(3264)1466

E-mail shogaigakushuu@city.chiyoda.lg.jp

